

生産者よりのご挨拶

前略

阿蘇では今日、初霜が降りました。
11月半ばの気温だそうです。朝起きるのに
勇気が要ります。
皆様はいかがお過ごしでしょうか。



さて、本日10月16日を持ちまして、
今年の稲刈りがすべて終了しました。
後片付けがまだ残っていますが、事故や怪我もなく、ひとまずほっとしています。

実はここで、皆さんに種明かしすることがあります。
以前から続けているこの生産者便りですが、数ヶ月前から調子が変わっていたのにお気づきでし
ょうか？実は8月の便りから、見習い生・大津耕太の嫁である、私愛梨が書いています。過去2回の
通信は、励志おじのフリをして私が書いていたのですが、読んだ方の中から「あれ、違う人が書いて
いるでしょ」と鋭い指摘がありました。別に隠すことでもないのです、この通信をもって担当者交
代のお知らせをしまして、引き続き生産者便りを続けたいと思います。

耕太と私にとっては、初めての稲刈りシーズンでした。今年はライスセンター（モミの乾燥と脱穀
をするところ）の工場長を引き受けたために、稲刈り作業にはほとんど加勢できませんでしたが、
春に植えた稲が黄金色に輝くのを見ると、やはり嬉しくもあり、緊張もします。なぜ緊張するかと
いうと、刈り取った稲の乾燥の仕方で味が変わってしまうからです。水分が多すぎると腐ってしま
うし、乾燥しすぎると甘味がなくなるのだそうです。最後まで気が抜けません。

耕太をライスセンターに取られた（！？）のが寂しかったのか、励志おじは子犬を一匹もらってき
ました。メスのビーグル犬です。名前もまだ決まっていないのですが、来て早々愛嬌を振りまいて
います。

来年の種籾として、収穫したモミも保管します。今は庭先で筵に広げて干しています。稲刈りが終
わると次の年の準備が始まる。こうして何百年も日本の農業が続いているかと思うと、感慨深いも
のです。来年こそは励志おじと一緒に稲刈りするぞー！皆さんも機会がありましたら、来年は金色
の稲穂を見にいらしてください。夏の合鴨ツアーもいいですが、刈り取り直前の田んぼもまた美し
いですよ。

それでは、季節の変わり目ですが、皆様どうぞご自愛ください。

平成 15 年 10 月 18 日
by おあしす米生産者 大津 励志 他一同